設備製品

車両位置情報システム

VPIS2022
(Vehicle Positional Information System)

「作業車両の位置管理及び作業内容を視覚化し、
体系的な管理を可能にしたシステムです。」

保全管理業務のDX化

車両に搭載されたパソコンに各種センサを取り付け集中管理することで、乗務員へ様々な情報を提供すると共に ICT 技術を用いた車内環境を実現します。

本技術の導入メリット

- 高精度のGNSS位置情報で様々なシステムに正確な測位を提供します。
- GNSS情報から危険箇所等運転に必要なガイダンスを提供します。
- 車内カメラ、ウェアラブルカメラ等のリアルな映像をマルチキャストで配信します。
- 路面センサが冬期間の路面管理に有効な路温等 8 項目を自動取得します。

明日へ繋ぐ、未来に繋ぐ

中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社

概 要

保全管理業務のDX化を推進

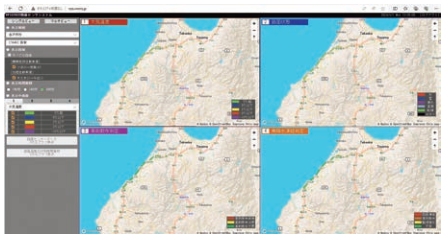
搭載されたPCに各種センサを取り付け、集中管理することで、乗務員へ様々な情報を提供すると共にICT技術を用いた車内環境を実現します。また、大型の作業車には自動制御、安全ガイダンス及びシステム連動機能を用意し、操作性を向上させ、作業環境の改善、安全性の向上及び効率的な管理を実現し、保全管理業務でのDXの推進に貢献します。

VPIS2022の構成

特 長

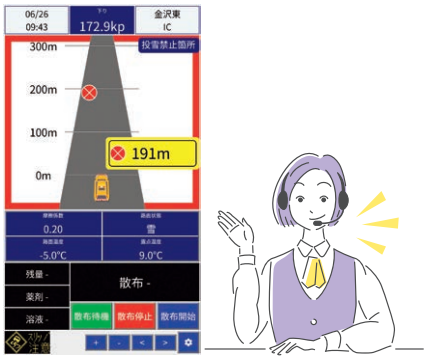
道路状況をリアルタイムで正確に把握

精度の高いGNSS測位とセンサーやカメラとの組合せにより、刻々と変わる道路状況を瞬時に把握でき的確なデータの活用が可能となります。
それによって、リアルタイムな状況把握が可能になり、適切な作業タイミングの提案に役立ちます。さらに各種装置との自動連動も可能にします。



重要な情報をスムーズに伝達

危険箇所や作業ポイントを登録し、高精度な測位計測から的確な作業伝達が行われることで、作業車両の正確な位置把握はもちろんのこと、事前に作業者へ危険個所を伝え注意喚起することができるようになり、安全な作業と保全管理が可能となります。
また、自動制御技術へのさらなる展開も期待できます。



（問合せ先）
中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社
名古屋市中区錦1-8-11 DPスクエア錦9F 〒460-0003
TEL：052-212-4551（代表）052-212-4597（営業部直通）
中日本エンジ名古屋 検索 FAX：052-203-5106
https://www.c-nexco-hen.jp/ mail：info.yy@c-nexco-hen.jp

第4版
2024.05